

備 後

城で豆まき 福来れ

福山 太鼓演奏や昔遊びも

日本一早いという豆まきのイベント「福まき」が4

日、福山市丸之内の福山城天守閣前広場であった。太鼓の演奏や昔の遊びブースもあり、親子連れたち約7千人でにぎわった。

豆菓子製造の徳永製菓(同市胡町)が協賛。「福は内」の掛け声とともに、計1万個の豆包みをステーションからまき、来場者は手を伸ばしてつかみ取った。クーポン券など400枚をまくイベントもあった。地元の太鼓ユニット「我



尾道高のジャージーを着てスクラムを体験する記者(中央)

ラグビー7人制

フォーワー構成。15人戦するが、試合時間はハーフタイム2分少ない人数が広い空間でプレーするたピーディーな展開となる。五輪では15人制に決まらず、2016年リオデジャネイロ大会で

龍」は力強い演奏を披露。昔の遊びブースでは大人も子どもも、お手玉やこま回しを楽しんでいた。正月を盛り上げようと、市民グループ「KOREF UKU(コレフク)」が主催し4回目。同市駅家町の宜山小5年森下留衣さん(11)は「今年は年女。豆は取れなかったが、習い事のサッカーにも力を入れて良い年にしたい」と笑顔だった。(湯浅梨奈)

手を伸ばして豆をつかみ取ろうとする来場者



笑顔あふれる一年に

無病息災 大念珠に



無病息災などを祈って大念珠を回す参加者

本紙記者が

手な記者(28)にもできるだろうか。部活動に取り入れている県立広島大三原キャンパス(三原市)の学生と対戦してみた。協力してくれたのは、障害者スポーツの普及に取り組み「アダプテッドスポーツクラブ」。実習室の床にテープで線を引いた幅6尺、長さ12・5尺のコートが舞台だ。球はソフトボールほどの大きさ。記者は顧問の長谷川正哉教授と組み、学生2人に挑ん

ボッチャ

脳性まひなどがある編み出された欧州発の障害のない人も楽しめる。カーリングに似たずつつを投げたり転がしたりして、目標球とで得点を競う。世界40カ国以上に普及し、クでは1988年のソウル大会からの正式競技

白の目標球に狙い右から2人目(中央)

